

令和5年度 工学部土木工学科学生への技術士第一次試験説明会 開催報告

望星技術士会 藤田 孝康

1. 日時

令和5年6月1日（木）

17:15～18:20（4時限終了後の時間）

2. 場所

東海大学湘南キャンパス

19号館311号教室

3. 参加者

- ・東海大学教員：梶田佳孝教授、三神厚教授
- ・東海大学学生：3年生を中心とする21名
- ・東海大学新聞：1名
- ・望星技術士会：6名（笠原勉氏、齋藤寛氏、谷徳造氏、桜井裕一氏、庄司大介氏、藤田孝康）

4. 目的

本説明会は「技術士第一次試験説明会」と題して、学生の皆さんに技術士資格を理解してもらうとともに、技術士第一次試験にチャレンジしてもらうことを目的としている。

5. 背景

今回の説明会は、技術士第一次試験の受験申込み時期に際し、受験を決意してもらうことを目的としたものである。なお、今回の説明会に先立ち、去る令和4年12月20日（火）と令和5年1月10日（火）の2回にわたり出前授業を「土木基礎ゼミナール入門ゼミナール2」の枠内で講義として実施している。

6. 技術士第一次試験受験のすすめ

本説明会（写真1参照）の内容を以下に記す。



写真1 21名の学生が熱心に聞いている状況

（1）はじめに

梶田教授より、開会にあたって今回の説明会の経緯や趣旨を説明いただいた（写真2参照）。



写真2 梶田佳孝教授の開会あいさつ

（2）趣旨説明

今回の目的や概要を以下のとおり説明した（説明者：齋藤氏、写真3参照）。

- ① 望星技術士会とは
- ② 今回の目的
- ③ 技術士資格とは



写真3 趣旨説明（齋藤寛氏）

（3）試験の説明

技術士第一次試験の申込み、費用、受験場所、受験日・受験時間、試験方法、合格率などを以下のとおり説明した（説明者：藤田、写真4参照）。

- ① 試験の内容
- ② 試験の概要



写真4 試験の説明（藤田孝康）

（４）過去問の解説

基礎・適性・専門でそれぞれの科目でどのような問題が出題されるかを以下のとおり説明した（説明者：庄司氏、写真5参照）。

- ① 試験の内容と合格判定
- ② 解答用紙
- ③ 科目（基礎、適性、専門）
- ④ 試験の事前対策
- ⑤ 試験本番の心構え



写真5 過去問の解説（庄司大介氏）

（５）各業種における技術士資格の有用性

建設会社、建設コンサルタントのほか、建設関連業種で技術士の活かし方、学生時代に挑戦してほしい理由を以下のとおり説明した（説明者：庄司氏、藤田、齋藤氏、写真6参照）。

- ① 東海大学工学部土木工学科の卒業後の進路
- ② 土木工学科卒業後のキャリア・イメージ
- ③ 建設コンサルタント
- ④ 建設関連産業
- ⑤ 独立技術士
- ⑦ 建設会社・発注機関

（６）笠原副会長代表メッセージ

最後に、笠原副会長代表より学生の皆さんに向

けて、建設業界での業務では技術士資格が必須である。毎年卒業生では300名以上が受験し苦戦している現状であり、在学中に就職活動にも有利な資格を取得してくださいとのメッセージがあった（写真6参照）。

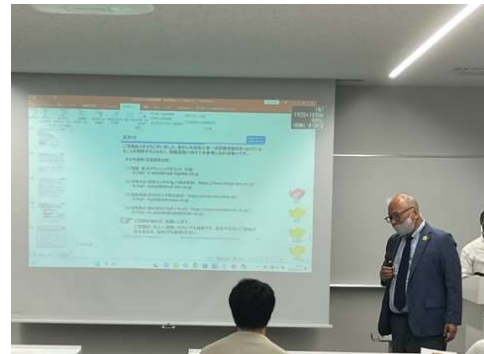


写真6 笠原勉副会長代表メッセージ

（７）参考図書の贈呈等

梶田教授より、閉会のお言葉を頂き説明会を終了した。終了後、三神教授に笠原副会長代表より技術士第一次試験に関する参考図書を贈呈した（写真7参照）。



写真7 図書贈呈（笠原副会長代表より三神厚教授へ）

また、谷氏より過去12年間分の技術士一次試験の問題および解答、その他参考となる資料などを収めたCD120枚（土木工学科1学年全員に配れる枚



写真8 CDの内容の説明（谷徳造氏）

数)も参加した学生の皆さん、および梶田教授に贈呈された。加えて、谷氏から自身の経験や勉強方法について具体的な助言があった。(説明者: 谷氏、写真8参照)。

7. 学生の皆さんからの質問について

説明会終了後に個別に講師へ技術士資格や第一次試験に関する質問等があった。

Q1) 在学中に技術士補の試験に合格して公務員を目指しているが、公務員の業務が技術士第二次試験の経験業務として計算(カウント)されるでしょうか。

A1) 公務員試験では当然技術系職務で受験すべきである。その結果、例えば建設系の部署に配属された場合には、公共事業の企画・発注・施工管理・検査となり、これらの一連の業務が経験業務となる。また、技術力の高いプロポーザル方式の業務を発注する場合、技術士資格を保有すれば業務発注責任者としての活躍が望める。

Q2) 建設部門を受験しますが、どのような勉強方法が良いでしょうか。

A2) 一番難関は基礎部門であるので、少なくとも過去3年分の問題を解答出来るようにする。専門分野は35問中25問解答すればよいので苦手の分野は捨てて得意分野で点数を稼ぐ。さらに毎年高い確率で出る問題が決まっているので、その問題は確実に解答できるようにする。

Q3) 桜井幹事から学生へインタビュー: 技術士一次試験を受けようと思った動機は?

A3) 私は公務員(神奈川県)を志望しています。技術士資格取得は、公務員の技術職としても有効な資格であると教えて頂き、在学中にトライすることを決めました。

8. 雑感、メッセージ

以下に講師および参加者、それぞれの雑感、メッセージを記す。

(1) 齋藤講師

今回は授業ではなく任意の説明会でしたが、学生の皆さんが自発的に集まってくれたことを喜ばしく思いました。将来の目標を考えるきっかけに

なれば幸いです。第一次試験への挑戦は、技術者としての成長のはじめの一歩となります。良い結果に結びつくように取り組んでいただきたいと思います。

(2) 庄司講師

参加してくれた学生はしっかりと講義を聴講されており、意識の高さを感じさせてくれました。そのため、我々講師陣もやりがいを感じています。昨年に続き、多くの学生に技術士第一次試験を受験し、合格を目指して貰えれば幸いです。

(3) 藤田講師

昨年度から、東海大学工学部土木工学科の学生さんに対して、出前授業、説明会、勉強会と3つのプログラムを提供することが整ってきたと感じています。今回の説明会でもよりわかりやすく、やる気を引き出すことを心掛けました。一人でも多くの学生さんが技術士第一次試験に挑戦してくれることを期待しています。

(4) 桜井幹事

今回、この説明会へは初めての参加であったが、出席者の数はやや少なかったものの参加学生全員の「やる気」の高さを強く感じた。東海大に於ける我々のこの活動を今後も継続し、且つ、内容を充実していくことが重要であると再確認できた。

(5) 谷氏

意外と学生間での情報共有が不足していることを感じた。提供したCDを活用して、技術士第一次試験を受験するとともに、将来的に技術士を目指してくれることの一助となれば幸いである。

(6) 笠原副会長代表

参加した在学生に対して昨年12名合格した実績を基に、受験すれば必ず合格すると勇気づけた。学生の真剣な光輝いた眼差しを見て、今年も良い成果が出ると確信した。

[謝辞]

今回の説明会に際して、ご理解及びご協力を頂きました土木工学科の梶田教授、三神教授に、改めて心より感謝申し上げます。

以上